

視察交流会 平成17年10月4日

亀田メディカルセンター見学会



風光明媚な鴨川の、映画のワンシーンの様な海岸に、今回見学の亀山病院は在ります。代々が地元のお医者様とおっしゃる亀山病院長から、良質な医療と入院環境は高額で提供されるとは限らないという、熱意のこもったお話を伺いました。

続けて建物最上階で絶景を眺めながら、院長ご参加で季節の和食膳の昼食です。その後、アメニティが充実し、セキュリティと患者様（院長は常にこうおっしゃる）のプライバシーが確保された院内と、女性専用フロアを中心に廻りました。会員の質問も熱心です。

皆様納得の様子でバスへ。
ツアーはまだまだこれだけでは終わりません。藤野会員紹介のハートフル鴨川を、車窓から見学した後、釣瓶落しの秋の陽に急かされながらも、「杉山農園」で瑞々しく大きな新高梨を狩り、「花ほたる」でコスモスを摘んで夕闇の東京湾アクアラインへ。楽しく無事に東京到着です。真に東商女性会らしい、花も実もある交流の一日となりました。

(記・交流担当)

第4回研修会報告 平成17年10月28日

『美道五原則』に則った基本原則と株式会社ヤマノホールディングコーポレーションのM&A戦略



ヤマノホールディンググループ
社主 山野 敬子氏

山野敬子様は、山野愛子様様の三男、彰英氏とご結婚されて以来、ヤマノグループの経営に尽力してこられました。

ヤマノグループの企業理念「衣・食・住・遊・学」の美道五原則」を基本に、企業発展のためのM&A戦略のあり方、少子化や高齢化がこれからの経営に与える影響など、幅広いお話も伺うことができました。ヤマノ流経営では、M&Aも、今騒がれている《敵対的企業買収》ではなく、人員整理や雇用調整を行わず、対象企業に自主独立経営を促す《融和的企業買収》を行います。買収される側の社員にとって、どれほど安心につながる事でしょう。

お客様に喜ばれる《高付加価値販売》を促進する事も大切な事なのですと結ばれた山野様に《価値組》のリーダーシップの心得を学ばせて頂きました。また、その暖かな笑顔と凛とした心にふれて、元気と勇気も頂きました。

(記・研修担当)

第5回研修会 平成18年2月27日

生涯現役！ 若さを保つ食生活



飯塚律子ヘルスフーズ研究所
主宰 飯塚 律子氏

大変興味深いテーマから当日は70名近い方々がお集まりになり、飯塚先生のお話真剣に耳を傾けておられました。

21世紀は遺伝子治療の時代と言われており、遺伝子治療により寿命が40年延びることも夢ではなく、老化現象を防げるといわれていますが、その一方で病気の発生は日常的な習慣が深く関わっており、日々の食生活がさまざまな生理系統を調節し、根本的な治療は食事が基礎となります。また、人間は血管とともに老いるため、血管の老化を遅延させる食生活が大切で、特に酸化・劣化した脂肪には注意をしたいということを、飯塚先生ご自身のご経験や笑いを交えつつお話頂きました。

最後に進歩した今日において最も健康の基本は①腹八分目でよくかむこと。②バランスよく、いろいろ食事をとること。③よく歩き、足・腰を丈夫にすること。④気を整えることなど。とのことでした。

(記・研修担当)

女性経営者ミーティング in 柏崎 「電気がむすぶ交流の輪」

首都圏エネルギー懇談会主催による電力生産地と消費地、双方の女性経営者交流として、『女性経営者ミーティング in 柏崎』が平成17年11月2日・3日の両日、新潟県柏崎市で行われました。

雲ひとつなく晴れ上がった秋空の下、東商女性会出席者30名を乗せた新潟新幹線「MAXとき311号」は、長岡に向かって出発しました。

11月とは思えない暖かさの中、柏崎刈羽原子力発電所へ向かうバスの中では、齋藤朝子会長より「最大の電力消費地である東京の住人としてのどのように生産されているのかこの



目で確かめたい」との挨拶がありました。

日本海を望む柏崎市、刈羽村に跨る敷地約42万平米に昭和53年沸騰水型原子炉1号炉が東京電力により着工されました。総工費2兆6千億円。

現在の7号機まで、100%関東圏への電力生産のため24時間稼働しています。先日の新潟地震でもセンサーが感知しなかったほど強固な地下45メートルの岩盤の上に建設されています。

金属探知機を通過した後、一人ずつ立ち入り許可証をかざしてブースを通ると、更にカプセル状の出入ゲートが待ち構えている様子は、さまざまなスパイ映画のよう。6号機タービン室に入ると、巨大な羽車が蒸気力で1分間に150回転し、135万キロワットの電力が作られて瞬時に関東圏に送られます。原子炉建屋では外部より0.2気圧低くなっており、まんがいち、壁に穴があいた場合は内気が外に出ないようになっています。



た。年に1回の点検では燃料棒をカプセルから取り出し空気に触れないようにプールに入れ、3年間冷却するそうです。発電所の心臓部である運転室では、6班体制で24時間運転操作と監視が行われていました。発電所内の緊張感漂う無機質な通路のあちらこちらに、発電所関係者の描かれた書画、撮影された写真などの作品が展示されているところに心とまされました。

原子力発電所と聞くと思い浮かぶ「危険」の文字が払拭されるほど「安全」への配慮が幾重にもなされている事が、当たり前とは言いながらも深く心に残りました。

柏崎市内で新潟銘酒『越の誉』の蔵元原酒造を見学の後、『女性経営者ミーティング in 柏崎』の会場である『メトロポリタン松島』に入りました。

柏崎商工会議所女性部、刈羽村商工会女性部、福島県相双地区商工会女性部連合協議会、そして東京商工会議所女性部のメンバー併せて67名、ゲストコメンテーターとしてダニエル・カール氏を迎え『井戸端交流会』と銘打ち「原子力発電所を見学して」

「女性の目から見た地域間交流」をテーマに、肩肘の張らない意見交換が行われました。各地域の代表からは、それぞれの地域自慢が披露され、ゲストのダニエル・カール氏からは日米エネルギー事情の比較等が紹介されました。

続く交流懇親会では、日本海の幸と銘酒、お米「コシヒカリ」に舌鼓を打ち、勇壮な「日本海太鼓」を拝見聴し、交流を深めることができました。翌日は昭和22年に昭和天皇が行幸された柏崎史跡の飯塚邸を見学して新潟を後にしました。

電力を通じて生産地と消費地の女性会会員が直接交流する機会を与えられた事に深く感謝し、意義深い視察交流会を終えました。

来年は福島原子力発電所の視察が企画されているそうです。

(記・石野康子)

東京武蔵野・町田商工会議所女性会共催 女性経営者支援事業 チア！ ビジネスウーマン2005 in 東京

『明日を拓く女性リーダー』女性
の働き方の変化と新たなチャレンジ』

11月9日、東商ビル7階の国際会議場で、新しい女性リーダー像についてのシンポジウム「チア！ ビジネスウーマン 2005 in 東京」が開催され、「女性リーダー」にテーマを絞り、各界代表の方々に本音やポリシーを語っていただきました。



まず、東京商工会議所女性会齋藤朝子会長より開会のご挨拶があり、働く女性のあり方や女性の社会進出についての話をいただきました。

基調講演

基調講演は『オープン&フェアネス』が目指してきたこと』というテーマで株式会社リクルート特別顧問の河野栄子氏よりお話いただきました。株式会社リクルートのビジネスモデルの説明の後に、「私は小さな頃からの創意工夫・効率重視という点が、ビジネスにおいて有効に働き、なにかと『初の女性』という状況であったことが多かったように感じています。時間を無駄にしないので、効率よく仕事をすることを第一に考えていますから、基本的に残業はせず、趣味の時間に充てています。仕事ではアウトプットだけでなく、インプットの時間をとることも大切だからです。その上で現在は『質と効率』を追求し、社内の業務改善に尽力しています。当社で



は『自己実現』を考えている人が多いことを鑑み、社内の『キャリアWEB(仕事の社内採用制度)』『セカンドキャリア支援(本人のキャリアを積極的に支援し、退職時引き止めないが、再チャレンジも可)』などを行い、個と組織のオープンでフェアな支援事業を展開しています」とのお話をいただきました。

パネルディスカッション

基調講演の終了後にキャスターで千葉大学非常勤講師の木場弘子氏のコーディネートとして、株式会社インテグレックス代表取締役の秋山をね氏と株式会社資生堂取締役執行役員の岩田喜美枝氏でパネルディスカッションが行われました。

まず、ビジネスリーダー・女性・母としてどう努力しているか、という木場氏の問いかけに対し、岩田氏より「子育てにありとあらゆるサービスを使った。子育ては楽しかった人生を豊かにしてくれた。」との発

言。続いて、女性のビジネスリーダーの資質については秋山氏より「ビジネスに男女の関係はなく、志・理念を持つことが大事。女性は、『より生活者』だから、その視点をビジネスにどう繁榮させていけるかであると思う」という発言がありました。

続いて女性リーダーの進むべき道とはというテーマには、秋山氏より「ビジネスリーダーは何をやっているのかを明確にしなければならぬ、私はそれが社会貢献につながっている欲しいと思う。そのような思いを共有してくれる仲間を育てている」

そして岩田氏より「仕事はとにかく自分の任務を全うし、評価を受ける人を増やしてそれを語り継いで欲しい。企業内の働き方は誰にでも関係のあるものと理解して欲しいから『ライフワークバランス塾』というものを主催し、企業の成長の源泉を育てている」と立場・年代が違う2人のパネルからの体験談を踏まえた貴重な話をいただきました。

最後に町田商工会議所女性会荒江志保子会長より閉会の挨拶があり、シンポジウムは終了いたしました。

(記・林和恵)

関東商工会議所女性会連合会
東京商工会議所女性会

平成18年3月2日
(東商・国際会議場)

共催講演会

弁護士 住田 裕子氏



関東各地から400人を超える会員が集いました。講演に先立ち、小泉清子関東商工会議所女性会連合会会長の挨拶。続いて講師の紹介。TV番組「行列のできる法律相談所」等に出演されている注目の女性弁護士です。

10キロ減量のいきさつと成功秘話

出演しているTV番組で、突然10キロ減量企画を持ちかけられ、2ヶ月にわたり「知的で美人の弁護士」としてチャレンジ。「女性の興味は、まずはダイエットですよ」と、成功の秘訣を具体例を交え、筋肉トレーニングの重要性などわかりやすく説明して下さいました。

「ワークライフバランス」≪女性の社会進出と少子化や諸問題の関係

次に女性の意識や価値観が日本で変わりつつあることに触れ、今や女性の社会参加は男性と半々の意識である一方で女性が社会参加することによって「少子化」が助長されているかのような捉え方がある。しかし調査結果では安定した職業に付いている人の出産率が一位であり「ワークライフバランス」≪男女が共に良いバランスをとりながら家庭を築き、社会を構成していくという考え方の大切さを解説。

日本での女性の社会参画はデータ上でも、諸外国に比べ大変な遅れであり、少年犯罪が増えつつあることは、家庭での規範教育がなされていない点を指摘されました。父親が家庭に関わる時間は先進諸外国からみても少なく、わずかな時間でもよいので子供に規範を語り、母親は温かい家庭環境をつくり、幼児期にはス

キンシップを、どんな小さなことでも誉めることが大切。愛情あるしつかりとした家庭には少年犯罪は起きないとの考え方を示されました。

「ダイバーステイ(多様性)」≪様々な考え方を積極的に受け入れる環境

国連の統計による国際的な格付けでは、女性の活躍度が低い日本は国際的な競争力が低いとされ、資源が有効に活用されていないとみなされています。「ダイバーステイ(多様性)」≪違った見方のできる人材がたくさんいるという環境は、社会全体や企業にとつて、様々な検討の機会があり、新しいものを生み出す力や活発な経済活動に繋がります。女性経営者のみなさんも社会に多様性を生み出す意味で活躍をし続けていただきたいと述べられました。

熱のこもった講演後の質疑応答では、ご自身が子育てに一番苦労された点、男女の賃金格差についてなど熱心に語って下さいました。齋藤朝子関東商工会議所女性会連合会副会長より、閉会の挨拶で終了しました。

(記・八木美重子、安井啓子)

超電導リニア

モーターカー試乗会

3月16日

時速500km体感!

未来、技術完成へ!〜

穏やかな春の陽光の中、30名の参加会員で出発。中央自動車道に入つて全員自己紹介後は車中で歓談。10時過ぎに大月市の山梨県立リニア見学センターに到着しました。3階展望室よりあつという間に走り去る走行を見学しました。

その後はいよいよ試乗会。時速500kmの浮上を体感。トンネル内の灯りがすべて帯状に見え、カーブを走る時には車体が5度傾斜し、車内で水平を保つ体感をしました。



昼食は峠の茶屋「さざこ」で。後に白百合醸造のワイナリーで試飲やミニ講座を満喫、帰路につきました。

(記・八木美重子)